

感染症法に基づく『医療措置協定』の締結のお願いについて

- ◆新興感染症の発生・まん延に備えるため、東京都と訪問看護事業所との間で、医療措置協定を締結することになりました。
- ◆より多くの訪問看護事業所の皆様と協定を締結したいと考えておりますので、**協定の締結にご理解とご協力をお願いします。**

協定のポイント

➤ 感染症発生・まん延時にお願いしたいこと

「自宅療養者」・「宿泊療養者」・「高齢者施設」・「障害者施設」に対して訪問看護の実施をお願いします。

協定の締結にあたり、

- 実施できる項目が一部でも締結可能です。

例：「**自宅療養者に対してのみ**」

- 協定に条件を設定することが可能です。

例：新興感染症発生時に、新規の利用者への対応が困難な場合には、**「普段から自所にかかっている患者に限る」**

- 協定に定める訪問看護の実施にあたっては、主治医の指示に基づき、訪問看護を行うことに変わりありません。

個人防護具の備蓄をお願いします。（協定への記載は、任意事項です）

- サージカルマスクなどの備蓄について2か月分以上を推奨。

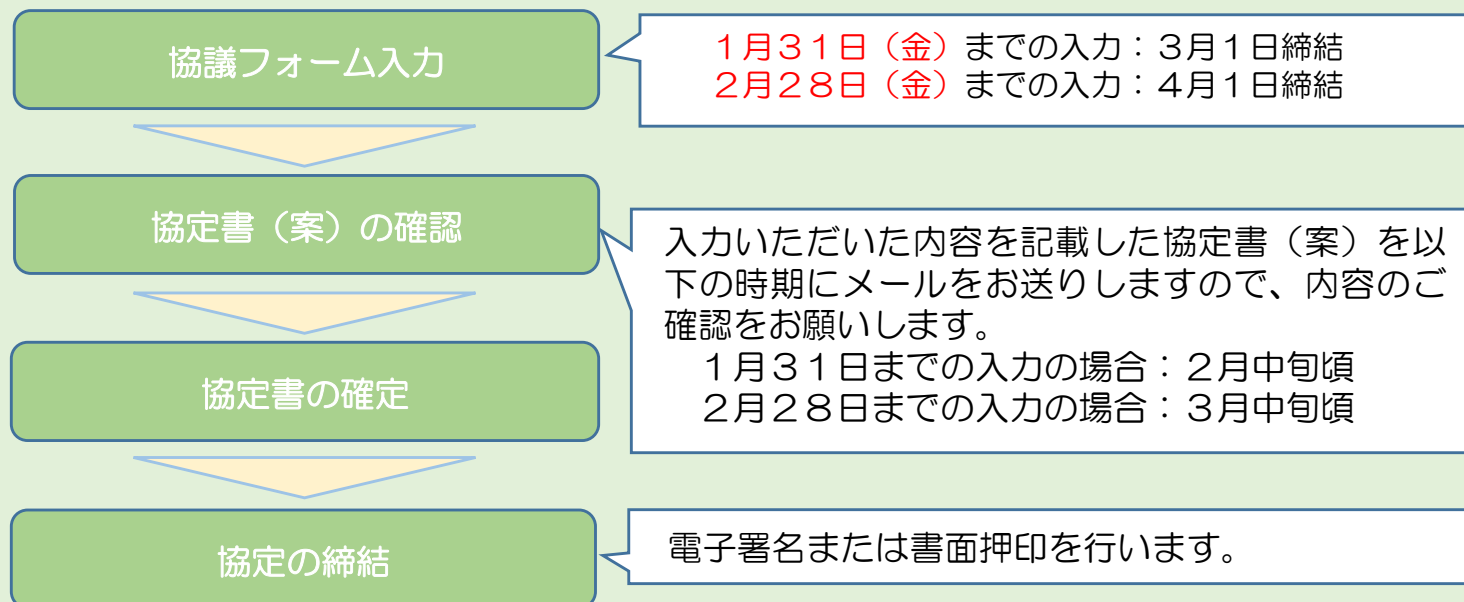
➤ 第二種協定指定医療機関に指定され、公費負担医療の対象となります。

- 協定を締結した訪問看護事業所は、原則として**第二種協定指定医療機関に指定され、新型インフルエンザ等感染症等の発生・まん延時には、実施する医療について、公費負担医療の対象**になります。

協定をした締結医療機関への支援

1. 新型インフルエンザ等感染症等に関する**最新の知見を情報提供**します。
2. 医療機関における**感染対策に関する研修を支援**します。
3. 個人防護具（マスク、非滅菌手袋等）を**優先的に配布**します。
※ 配布を実施する場合には、メール等でお知らせいたします。

締結までのスケジュール（4月1日締結まで）（予定）



医療措置協定についてのQ&A ※詳しくは、下記の東京都専用Webページを参照ください

Q1 どのような感染症を想定していますか？

- 協定の対象となる感染症は、感染症法の類型において「新型インフルエンザ等感染症」「指定感染症」「新感染症」とされた感染症となりますが、新興感染症の性状や感染症等を事前に想定することは困難であるため、まずは現に発生し、これまでの教訓を生かせる**新型コロナへの対応を念頭**にお考えください。

Q2 協定を締結した場合、財政支援はありますか？

- 協定に基づく措置を講じた場合、措置に要する費用については、東京都の予算の範囲内において都が補助を行うこととしています。なお、その詳細については、新型インフルエンザ等感染症等が発生した際に、その感染症の性状に合わせて定めるものとしています。

Q3 医療措置協定を締結したことは公表されますか？

- 医療措置協定を締結した時は、感染症法に基づき、当該協定の内容を公表することとなっています。専用webページの「8.協定締結医療機関等」にPDFリストを掲載しています。（毎月最初の開庁日に更新予定）

その他、ご質問事項については東京都専用Webページ内「お問い合わせフォーム」にて受け付けております。

URL：https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/iryokikan/i_kyotei

（都ホームページ：東京都保健医療局トップ＞感染症対策＞医療機関の方へ＞医療措置協定について）

※専用Webページではよくあるご質問等も掲載しています。

※インターネットのご利用が難しい場合は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

詳細は、東京都専用Webページにて



東京都 医療措置協定



◆協定を説明した動画、申込方法等を掲載しております。

令和6年度東京都医療措置協定締結事務局（受託事業者：株式会社阪急交通社）

TEL：03-4446-3567 または 上記ホームページのお問い合わせフォーム

・東京都保健医療局感染症対策部医療体制整備第二課 TEL：03-5320-5880